3．（五福）総合情報基盤センター新営その他機械設備工事	56,206,800円
4．（五福）総合研究棟（工学系）新営その他工事	1,544,400,000円
5．（高岡）ライフライン再生（耐震対策）工事	126,000,000円
6．（杉谷）図書館改修その他工事	418,716,000円
7．（杉谷）図書館改修その他電気設備工事	62,790,000円
8．（杉谷）図書館改修その他機械設備工事	96,600,000円
9．（杉谷）総合研究棟（医学薬学系）新営その他工事	1,239,840,000円
10．（杉谷）総合研究棟（医学薬学系）新営その他電気設備工事	221,616,000円
11．（杉谷）総合研究棟（医学薬学系）新営その他機械設備工事	353,160,000円
12．（杉谷）福利棟等新営その他工事	228,744,000円
13．（杉谷）福利棟等新営その他電気設備工事	100,620,000円
14．（杉谷）福利棟等新営その他機械設備工事	84,240,000円
15．附属病院中診・外来棟改修その他工事	2,160,000,000円
16．（杉谷）基幹整備（特高受電設備）工事	199,080,000円
17．（五福）非常時対応拠点施設新営その他工事	218,700,000円
18．（高岡）非常時対応拠点施設新営その他工事	102,470,400円
19．（寺町）非常時対応拠点施設新営その他工事	150,120,000円
20．附属病院ヘリポートデッキ設置その他工事	80,136,000円
21．富山大学設備保全等業務	1,037,403,030円
22．富山大学杉谷キャンパス建物清掃業務請負	215,654,400円

固定資産の減損に係る注記事項

減損の兆候が認められた固定資産

1．古府宿舎（土地）

⑴　減損の兆候が認められた固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額の概要

①　用途　福利厚生用

②　種類　土地

③　場所　富山県高岡市

④　帳簿価額　119,700,000円

⑵　認められた減損の兆候の概要

・当該土地のうえに建築されている宿舎の入居者数が承継時に想定した年間入居者数と比較して減少し、当該宿舎の稼働率が著しく低下しているため、減損の兆候があるものと判断しました。

⑶　「固定資産の減損に係る国立大学法人会計基準」及び「固定資産の減損に係る国立大学法人会計基準注解（以下「減損会計基準」という）」「第４減損の認識」２に掲げる要件を満たしている根拠

・当該宿舎は現在、稼働率・入居率が低下していますが、保守管理が恒常的に行われており、また、今後、国の合同宿舎の返還計画（平成27年３月31日までに返還）を進めていくための代替宿舎を確保する必要があり、将来の使用稼働率の上昇を見込んでいることから減損を認識していません。

2．古府宿舎（建物、建物附属設備及び構築物）

⑴　減損の兆候が認められた固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額の概要

①　用途　福利厚生用

②　種類　建物（建物附属設備及び構築物を含む。）

③　場所　富山県高岡市

④　帳簿価額　56,670,646円

⑵　認められた減損の兆候の概要

・当該宿舎の入居者数が承継時に想定した年間入居者数と比較して減少し、当該宿舎の稼働率が著しく低下しているため、減損の兆候があるものと判断しました。

⑶　減損の兆候の有無について、減損会計基準「第３減損の兆候」３に基づき、複数の固定資産を一体として判定した場合には、当該資産の概要及び当該資産が一体としてそのサービスを提供するものと認めた理由

・当該宿舎に附帯している建物附属設備である給水設備等が一体として使用されているためです。

⑷　減損会計基準「第４減損の認識」２に掲げる要件を満たしている根拠

・当該宿舎は現在、稼働率・入居率が低下していますが、保守管理が恒常的に行われており、また、今後、国の合同宿舎の返還計画（平成27年３月31日までに返還）を進めていくための代替宿舎を確保する必要があり、将来の使用稼働率の上昇を見込んでいることから減損を認識していません。

金融商品の時価等の開示に関する注記事項

1．金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金運用については預金、国債、地方債に限定し、資金調達については国立大学財務・経営センターと民間金融機関からの借入によっております。

資金運用にあたっては国立大学法人法第35条が準用する独立行政法人通則法第47条の規定に基づき公債のみを保有しており株式等は保有しておりません。また、未収附属病院収入は、国立大学法人富山大学予算決算及び出納事務取扱規則に沿ってリスク管理を行っております。

国立大学財務・経営センター債務負担金及び長期借入金（一部は民間金融機関からの借入金）の使途は附属病院及び学生寮の整備資金であり、文部科学大臣の事前承認に基づいて借入を実施しております。

2．金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：円）

	貸借対照表計上額（＊１）	時価（＊１）	差　額
⑴　投資有価証券及び有価証券	590,114,695	600,309,000	10,194,305
⑵　現金及び預金	9,999,134,861	9,999,134,861	—
⑶　未収附属病院収入	2,929,616,566		
徴収不能引当金（＊２）	△　33,589,243		
	2,896,027,323	2,896,027,323	—